

令和3年度 平塚市市民活動推進補助金

# プレゼンテーション

- ◆開催日 令和3年3月13日(土)
- ◆会場 ひらつか市民活動センター

## 目次

- スケジュール…………… P1
- 申請団体一覧…………… P2
- 入門コース 補助金申請書(3団体)…………… P3～14
- 発展コース 補助金申請書(4団体)…………… P15～30
- 組織基盤整備コース 補助金申請書(2団体)…………… P31～40
- 審査委員紹介…………… P41

## プレゼンテーションスケジュール

●開催日：令和3年3月13日(土)

●会場：ひらつか市民活動センター

時間	内容
13:00	<b>プレゼンテーション開会</b>
13:05	<b>プレゼンテーション</b> ・申請団体による発表は5分以内、審査委員との質疑は3分以内(質問に関する回答は1分以内程度)とします。 <b>【入門コース】</b> ①13:05～ 撫子原自治会 ②13:20～ NPO 法人 しえんのまなび舎 ③13:35～ ASE自然農業会 <b>【発展コース】</b> ①14:00～ ひばり野のなかま達 ②14:15～ あいあいトミック ③14:30～ 特定非営利活動法人 NPO教育かながわフォーラム ④14:45～ 八幡郷土史編纂委員会 <b>【組織基盤整備コース】</b> ①15:20～ NPO 法人 暮らし・つながる森里川海 ②15:35～ 湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会
15:50	<b>閉会</b>

## 申請団体一覧

### ●入門コース(3団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	撫子原自治会	津浪より家族・子どもたち・大人たち、その命を守る「逃げ地図」の普及活動	10万	3
2	NPO法人 しえんのまなび舎	3世代コミュニティ	10万	7
3	ASE自然農業会	パパイヤ栽培でオンライン交流	9万	11
		合計	29万	

### ●発展コース(4団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	ひばり野のなかま達	ちいき・子ども食堂	29万	15
2	あいあいリミック	リミックによる子どもの発達支援事業	50万	19
3	特定非営利活動法人 NPO教育かながわフォーラム	教育相談会並びに子ども及び中高年市民を対象とする体験型講演会	36万	23
4	八幡郷土史編纂委員会	八幡郷土史集大成版の普及準備	34万	27
		合計	149万	

### ●組織基盤整備コース(2団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	NPO法人 暮らし・つながる森里川海	NPO法人 暮らし・つながる森里川海の運営体制の確立	20万	31
2	湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会	情報発信強化事業	20万	36
		合計	40万	

受付番号	入門コース1
受付月日	令和3年1月29日

令和3年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（**入門**・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) ナデシコハラ ジチカイ			
	撫子原自治会			
② 所在地	平塚市			
③ 代表者名	白井 照司			
④ 設立年月	1970年10月		(法人格取得年月 年 月)	
⑤ ホームページ	http://			
⑥ 設立目的・経緯	<p>本会の自治活動は、町内住民の相互扶助の精神に基づき、必要な公益事業を行い、かつ会員の社会生活の向上改善及び青少年の指導ならびに福祉一般に貢献すると共に自主的な防災活動を行う。</p> <p>その運営について多くの住民が参加し、公平な負担と恩恵を受けるべく努めるべく住民相互の協力をすることを目的に設立する。</p> <p>団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。</p>			
⑦ 活動の概要・実績	<p>住民相互の絆を深め災害時の助け合い、顔の見える自治会を目指し防犯・防災、美化推進、地域連帯、福祉厚生、広報活動等を行っている。主な活動として</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 津波避難訓練 参加者約80名、6自治会、3高齢者施設参加、参加総数約400名</li> <li>2, 災害時要支援者の対応を民生委員と協力し対象者のリストアップ、支援者とのマッチングをしている（対象者約40人）。</li> <li>3, まちぐるみ大掃除で、3ヶ所重点的に参加者を募り実施。参加者50～60名</li> <li>4, ごみステーションの整備（ネットから籠タイプに11ヶ所設置）</li> <li>5, 地域連帯として「春まつり」参加者約300～350人参加し子どもから大人までの親睦を図る。子育て世代を中心に青年部を設立しボーリング大会を開催し、横の連携を図る。参加者は約40名。地区レクは令和元年、青年部の活躍で優勝する。</li> <li>6, 各種募金活動、敬老及び成人へのお祝いを実施</li> </ol> <p>過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。</p>			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	無し			
⑨ 令和3年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	無し			

⑩ 会員数	個人＝ 388世帯 人 (うち平塚市民 人) 団体＝ 団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
	※⑪活動体制については、個人情報のため、非公開としています。		
活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。			

## 2 補助申請の内容

① 事業名	津浪より家族・子どもたち・大人たち、その命を守る「逃げ地図」の普及活動
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> 入門コース ・ <input type="radio"/> 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 10万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

## 3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<p>2015年神奈川県は津波想定値最大9.6メートル、到達時間6分と発表、当撫子原自治会のほとんどの地域が、浸水予測地域となり多くの住民は”逃げれない”と諦め、津波が来たら避難しない(死んでもしょうがない)と考えた。その後平塚市の防災対策課と当自治会等と共同で2016年頃より撫子原地区の「逃げ地図」を作成し避難訓練で使用し「逃げられる」の認識ができた。</p> <p>しかし逃げ地図はWEB上の公開のため、住民の手元には無いことと、時間がたち意識が薄れてきたこと、また新規住民は「逃げ地図」を知らないため「逃げ地図」を知らなかったりして上手く活用できていない。そこで住民の方たちに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、「逃げ地図」をもっと活用すること、</li> <li>2、道路に安全ポイントを掲示することにより日ごろから津波に対する避難ルートを考える</li> <li>3、ここまで避難したら安全なエリアだと場所の認識させる</li> </ol> <p>これ等の背景で6分以内に避難しようと思わせる「命を助ける行動」を推進する。  「逃げ地図」：(「逃げ地図」とは、目標避難地点までの時間を色鉛筆で塗り分ける手づくりの地図。道路が色ぬりされることで、直感的に危険な場所と逃げの方角を理解することができます。よって、逃げ地図を見ながら、または作りながらより安全な避難を考えたり、課題を考えたりすることが出来る。)</p>
「なぜ、この事業を実施したいのか?」 「どんな課題を改善したいのか?」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか?」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	

<p><b>② 事業の内容</b></p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>「逃げ地図」の活用により各世帯の避難ルートの作成、安全エリア表示板の設置により安全エリアを視覚で確認できること及び避難訓練で「逃げ地図」活用の目的を目指し以下の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「逃げ地図」をA4版で作成し全世帯に配布 配布した「逃げ地図」を使って、最短な安全エリアへの安全な避難ルートの設定、地図に避難ルートの記述、家族全員理解し、見えるところに避難ルートを記入した「逃げ地図」を掲示する。</li> <li>安全エリアが目視できるよう表示板を作成し、各ポイントに設置       <ol style="list-style-type: none"> <li>表示板のデザイン（分かり易さ等）の設計</li> <li>表示板設置場所の検討、設置許可、設置（約23ヶ所）</li> </ol> </li> <li>「逃げ地図」の使用方法、活用方法の啓発       <ol style="list-style-type: none"> <li>資料を作成し全世帯に配布</li> <li>公民館等で「逃げ地図」作成の講習会実施（市の協力を受ける）</li> </ol> </li> <li>避難訓練で「逃げ地図」の効果を実践、評価（アンケート等）行う       <ol style="list-style-type: none"> <li>全世帯に「逃げ地図」の活用状況の確認</li> <li>危険訓練参加者には避難ルートの検証、表示板の見やすさ、設置場所の適正さなどの確認等</li> </ol> </li> <li>アンケートに基づいた「逃げ地図」利用の修正</li> </ol>
<p><b>③ 事業の計画</b></p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>「逃げ地図」をA4版で作成し全世帯に配布 7月から8月頃までに作成、配布</li> <li>安全エリアが目視できるよう表示板を作成し、約23ポイントに設置 9月頃までに表示板の設計を完了し、発注する 11月の避難訓練前までに設置場所の選定、設置方法、設置許可等を得る。</li> <li>「逃げ地図」の使用方法、活用方法の啓発 9月～10月頃までに3回説明会を実施（参加者25人×3回）</li> <li>避難訓練で「逃げ地図」の効果を実践、評価（アンケート等）行う 11月の避難訓練（予定）で、「逃げ地図」で想定した避難ルートが6分以内及び安全なルートかを実験し評価をする。参加者は約80人とする。</li> <li>訓練後アンケートによる検証を実施</li> </ol>
<p><b>④ 期待される効果</b></p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>今までは「6分で9メートルの津波が来ては逃げきれない。“死ね”って言われている感じ」から「逃げ地図」で大多数の住民が6分以内に安全エリアに避難できることが分かり「あきらめ」しかなかった地区に、逃げ地図は、「全員で逃げて生き延びる」という目標ができる。</li> <li>家族全員で「逃げ地図」を基に避難ルート、避難場所、安全エリアの確認など情報の共有化ができ、避難が家族別々でも可能になる</li> <li>「逃げ地図」は子ども達だけでも理解でき家族から離れて遊んでいる時など避難行動が出来るようになる。</li> </ol>
<p><b>⑤ 協力団体等</b></p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>避難訓練で花水台自治会、黒部丘西部自治会、虹ヶ浜西部自治会、黒部第一親睦会等と協力して実施</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

項目		金額	具体的な内容（積算根拠等）					
① 収 入	補助金	100,000 円	平塚市市民活動推進補助金					
	撫子原自治会（会員会費）	21,000 円						
		円						
		円						
		円						
収入合計		121,000 円	発展コース：対象経費	円 ×	% =	円	補助金の申請限度額	円
② 支 出	項目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）			
	印刷費	35,000 円	35,000 円	35,000 円	チラシ印刷代 資料2種類×500枚、訓練チラシ×500枚、逃げ地図×500、2000枚×15円=30,000円、会議用印刷代 5回×6枚×6人×10円=1,800円 アンケート用紙100枚×10円=1,000円、その他			
	物品購入費	66,000 円	66,000 円	65,000 円	プラスチック掲示板30枚×2,200円=66,000円			
	消耗品費	20,000 円	20,000 円	0 円	会議用コピー用紙500枚=500円、印刷用インクセット×1=,6000円、表示板固定バント50枚×4ヶ所×4円=800円、作業用手袋10双×500円=5,000円、その他			
		円	円	円				
支出合計		121,000 円	121,000 円	100,000 円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。 また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目を記載してください。			

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。  
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	入門コース2
受付月日	令和3年2月9日

2021年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（**入門**・ 発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) エヌピーオーハウジンシエンノマナビヤ			
	NPO 法人しえんのまナビ舎			
② 所在地	平塚市			
③ 代表者名	高梨 聡美			
④ 設立年月	2017年 11月		(法人格取得年月 2019年 12月)	
⑤ ホームページ	https://sienmanabiya.jimdofree.com			
⑥ 設立目的・経緯	<p>神奈川県では、インクルーシブ教育がスタートしているが、その中で困っている子ども達、保護者、教育者、支援者などがたくさんいる。本会は、様々な特性をもつ子どもの支援のあり方を皆で学び、語り合う場として発足した。</p> <p>法人としては、課題をもつ子どもの支援者や保護者に対して、子どもそれぞれに合った支援のヒントを提供する活動に関する事業を行い、また、子どもたちの健全な育成に寄与することを目的としている。</p>			
⑦ 活動の概要・実績	<p>過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。</p> <p>①毎週土曜日にハッピーサロンを開催して、発達特性のある子どもの保護者支援者、教育者のコミュニティになっている。</p> <p>②2017年度から1か月に1度のペースで学習会や講演会を開催している。 1回の学習会や講演会の参加者は、20名～40名になっている。</p> <p>③毎月第土曜日には、子ども達のお仕事体験として、宮松町自治会とコラボして回覧板おセッティング、ポスティング、掲示板の張替えなどを行っている。参加生徒（小学校高学年～高校生）は、ペガサス就職塾生と公募参加の生徒である。</p>			
⑧過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	社会福祉ボランティア活動支援	2019年7月	100,000円	事業運営経費
	緊急応援助成（コロナ）第1次	2020年5月	40,000円	事業運営経費
	緊急応援助成（コロナ）第2次	2020年7月	40,000円	講演会費助成
⑨令和3年度に受ける予定の助成等	緊急応援助成（コロナ）第3次	2020年10	32,406円	講演会費助成
	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	緊急応援助成（コロナ）第4次	2021年1月	50,000円	事業運営経費

⑩ 会員数	個人=.....54...人（うち平塚市民...44...人） 団体=.....1...団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
	※⑪活動体制については、個人情報のため、非公開としています。		
<p>活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。</p>			

## 2 補助申請の内容

① 事業名	3世代コミュニティ
② 申請コース	<p>(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。)</p> <p style="text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/> 入門コース      <input type="radio"/> 発展コース </p>
③ 申請額	<p>【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】</p> <p>10万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)</p>

## 3 補助申請する活動・事業の内容

<p>① 事業の目的</p> <p>「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。</p>	<p>現在、発達特性のある子ども（発達障害など）の子ども達に将来の就労経験のために宮松町自治会とコラボして、回覧板のセッティングやポスティング、掲示板の張替えなどの業務を行っているが、自治会館などを利用していくうちに、地域の方、特に、高齢者の方との関りが広がれば、いいなと思うようになった。</p> <p>また、NPO 法人しえんのまなび舎では、毎週土曜日に発達特性のある子どもの保護者や支援者と子育て懇談会や学習会のような活動『ハッピーサロン』を行っている。そのサロンを子育て世代の方、また、子育てを終えた世代の方との交流の場になるようにしていきたいとも考えている。</p> <p>現在の地域活動は、互いに助け合ったり、学び合ったりする機会が減り、自治会活動も主体的に参加しようとする方が少なくなっている。また、高齢化も進み、自治会の運営も大変になっている。</p> <p>そこで、3世代コミュニティの場を設定することで、自治会を核とした交流を行い、世代を越えて活動する場へと広がっていくことを目的としている。</p> <p>障害があるとか、年齢とか、男女とかの枠を越えたユニバーサルデザインのコミュニティサロンの運営を協力して行い、平塚モデルを作っていきたいと考えている。</p>
---	--

<p><b>② 事業の内容</b></p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。 事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。 ※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>3 世代コミュニティで「世代を越えての交流を行う場作りをすること地域住民が自分たちの地域での交流広げて、平塚を住みやすいまちにすること」を目的として、次の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 発達特性のある子ども社会体験、就労体験での交流 月1回の自治会回覧板・掲示板業務並びに動画字幕入れの仕事 障害がある生徒の社会進出の足がかりになるような活動を提供する。 自治会会員、NPO 法人しえんのまなび舎スタッフが協力</li> <li>2, ハッピーサロンでの子育て交流会、勉強会の実施 毎週1回 子育て懇談会や学習会を自治会館で開催 NPO 法人しえんのまなび舎の会員だけでなく、宮松町自治会の皆さんにも呼びかけをする。</li> <li>3, 宮松町コミュニティサロンとコラボ 宮松町自治会とのコラボにより、地域のための新しい活動が生まれ、それに協力や支援を行っていくことで、障害のある方、高齢者、子育て世代が交流していく場作りを行っていく。そこからまた、次への新しい活動が生まれていくと考えている。</li> </ol>
<p><b>③ 事業の計画</b></p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 発達特性のある子ども社会体験、就労体験       <ol style="list-style-type: none"> <li>①宮松町自治会の回覧板、掲示業務を行う。 毎月第2土曜日 14時～16時 各回参加者生徒募集定員6名 雨天の場合、ポスティング業務は、しえんのまなび舎スタッフと自治会応援スタッフでカバーする。</li> <li>②北村仁さんのUDダンスとコラボして動画に字幕を入れる仕事 毎月第4土曜日 14時～16時 各回体験者生徒募集定員5名</li> </ol> </li> <li>2, ハッピーサロンでの子育て交流会、勉強会 子育て懇談会やテーマを持った学習会、DVDなどの視聴による勉強会 また、NPO 法人しえんのまなび舎の講演会では、自治会の会員さんは、賛助会員と同じ参加費で参加できる。 毎週土曜日 10時～12時 宮松町自治会館（ペガサス平塚センター） 定員10名、（講演会は、日曜日のこともあり）</li> <li>3, 宮松町コミュニティサロンとコラボ 宮松町とコラボして、サロンの運営をする。 ネットの使い方（line、Facebook、zoom など）を学習したり、工作教室を行ったり、いろいろな相談会を行ったりする。子ども達が先生になったり、お年寄りが教えたり、みんなで企画を考えてみたりと交流することで広がる世界を期待している。また、不登校の生徒がフリーに参加して、社会とのつながりを持ってたらしめても考えている。 毎週1回以上 宮松町自治会館 参加者5～10名 定員20名まで</li> </ol>
<p><b>④ 期待される効果</b></p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>自治会を基盤にした活動で、支援する側になったり、支援される側もなったりお互いにウィンウィンの関係が生まれ、本来の社会の役割が認識されていくと思われる。もっと身近な地域活動になって、近所の方が困った方を支え、それにより支えられるといった姿を目指している。 街中の自治会でも、工夫次第でできるモデルを作り、平塚市全体に広げていくことが出来たらと考えている。 自分たちの手で、暮らしやすいまち作りのためのコミュニティが出来る。</p>
<p><b>⑤ 協力団体等</b></p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>宮松町自治会 宮松町コミュニティサロン運営委員会 一般社団法人ペガサス平塚センター 新しい時代の交流会運営委員会</p>

#### 4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄  発展コース補助割合確認

項目		金額	具体的な内容（積算根拠等）					
① 収 入	補助金	100,000 円	平塚市市民活動推進補助金					
	団体会員の会費	10,400 円	団体会員年会費の一部を充当					
	業務収益	39,600 円	回覧板業務報酬 3,300 円×12 か月					
		円						
		円						
収入合計		150,000 円	発展コース：対象経費	円×	%=	円	補助金の申請限度額	円
② 支 出	項目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）			
	物品購入費	105,000 円	105,000 円	80,000 円	Chromebook35,000 円×3			
	消耗品費	15,000 円	15,000 円	10,000 円	プリンターインク代 3000 円×2 用紙 2,000 円×2 回覧板用ビニル袋 1,000 円×5			
	印刷費	30,000 円	30,000 円	10,000 円	チラシ制作と印刷 5,000 円×6			
		円	円	円				
		円	円	円				
		円	円	円				
支出合計		150,000 円	150,000 円	100,000 円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目に記載してください。			

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。

※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	入門コース3
受付月日	令和3年2月10日

令和3年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書 **（入門）** 発展コース

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) アセ シゼンノウギョウカイ			
	ASE自然農業会			
② 所在地	平塚市			
③ 代表者名	宮川 照男			
④ 設立年月	2009年 5月 ※2009年5月 NPO法人格取得 (ID: 1209247335) 2014年～休止 現在は任意団体			
⑤ ホームページ	<a href="https://sites.google.com/site/aseagri/">https://sites.google.com/site/aseagri/</a>			
⑥ 設立目的・経緯	2009年に立ち上げたNPO法人ASE自然農業会 (Agriculture for Sustainable Earth) は2014年に主力メンバーが東南アジアに移住したために休止した。2019年に帰国して、平塚市にて農業を再開した。東海大学のサウジアラビア、タイの留学生達と新野菜の栽培を開始した。沖縄県出身の協力者の参加により温暖地域の野菜・果実の試験栽培を行っている。			
団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。				
⑦ 活動の概要・実績	2009年にNPO法人 ASE自然農業会を立ち上げて、東海大学湘南キャンパスの学生、留学生と土屋地域の農家の有志と遊休農地を利用した交流事業を始め、2011年の東日本大震災へジャガイモを送るなどの活動をした。東南アジアへの移住を行い、農業事情を調査した。一般的に利用されている野菜・果物を平塚市金目地域にて試験栽培開始した。モリンガ、パッションフルーツ、レモン、ドラゴンフルーツ、パパイヤなどは栽培を行うことができた。パパイヤの矮小化技術を獲得した。			
過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。				
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
⑨ 令和3年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容

⑩ 会員数	個人＝ 5 人 (うち平塚市民 4 人) 団体＝ 団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
	<p>※⑪活動体制については、個人情報のため、非公開としています。</p>		
活動に携わるメンバーを記入してください。10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。			

## 2 補助申請の内容

① 事業名	パパイヤ栽培でオンライン交流
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> 入門コース ・ <input type="radio"/> 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 <b>9 万円</b> (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

## 3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的  「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	<p>気象庁は地球温暖化の進行に伴う関東地方の気温変化の予測を公表している、夏季の晴れて風の弱い日には平均気温は現在より最大1.5度程度上昇するとしている。これは、植物の生育にも影響を与えることにつながる。当団体は東海大学の留学生たちとの交流を続けてきた、コロナ禍になり留学生たちは移動自粛などで活動が制限され苦境に立っている。彼らに馴染みのある野菜、果物などを栽培することで、彼らへの支援を行うことを目的とする。</p> <p>パパイヤは国、地域により食べ方が異なる。タイ国ではサラダで食べるソムタムが女性などに健康食材として人気があるが、沖縄では油炒めで食べるのが人気がある。</p> <p>栽培方法は種子を発芽させ、苗を作り鉢植えにすることで、矮小化させることができ、冬場には居間に入れて寒さに耐えることができる。</p> <p>パパイヤに絞りを絞る、その栽培方法、収穫方法、食べ方、種子の取り方、などを通じてオンライン文化交流を行う。</p> <p>希望者に無料でパパイヤの鉢植えを提供し、居間で育てることで、冬場の寒さ対策とすることができる。オンラインで疑問点など、交流する。</p>
---	---

<p><b>② 事業の内容</b></p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>パパイヤ は成長が早く、播種から収穫まで6ヶ月と短く、また4年間は実をつける。北関東の茨城県、千葉県などでも栽培が行われている、東南アジアでは人気のある果物・野菜であるが、平塚では見かけることがない。パパイヤの栽培方法、収穫時期、料理方法は各国で種々意見があり話題がつかない植物である。</p> <p>@種子の播種 @生育の管理 @収穫時期の見分け方 @料理方法 @種子の作り方</p> <p>などをオンラインで公開することで、国、地域を超えた交流を行う。</p> <p>パパイヤを鉢植えにして、根に刺激を与えるなどで矮小化を行うことができる。背丈が1m以下のパパイヤに実がなる姿は室内の観葉植物としても美しい姿になる。</p> <p>鉢植えのパパイヤを希望者に無料で提供して、栽培状況などの写真をオンラインで共有しあうことで、収穫時期などについて交流する。黄色に熟すまで栽培すれば、種子が取れるようになるし、緑色で収穫すればサラダや炒め物の野菜になる。</p> <p>食べ方の教室 東海大学湘南キャンパスには東南アジアの留学生たちが多い、彼らに、これらの野菜・果物の、料理の方法、食べ方を教えてもらうことで、留学生たちのコロナ禍での生活に笑いを与えることができる。</p> <p>食を通じての交流は相互理解を行うことができる。</p>
<p><b>③ 事業の計画</b></p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>金目地域の田んぼ、畑は東海大学の留学生達が歩いて移動できる近さにあり、時間のあるときに自由に自然を満喫できる環境がある。</p> <p>パパイヤは東南アジアで最も人気のある果物・野菜のひとつと言える。</p> <p>活動・事業の実施場所；北金目2丁目38番、会員の自宅 実施方法；オンライン情報交換；種の直播、散水、収穫、料理教室 参加者；沖縄県出身者、東海大学留学生、地元の農家、家庭菜園従事者 実施時期；3月より10月収穫、オンラインで常時発信 参加人数；初年度は中心になる人、5名 オンラインでの交流（英語、タイ語、日本語での発信）</p> <p>スケジュール； 3月—キックオフ 会議 4月—播種、苗作りの拠点を作る 6月—畑に移植 10月—収穫</p>
<p><b>④ 期待される効果</b></p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>コロナ禍で、東海大学の留学生たちは苦境にたたされている。また、異常気象や鳥獣被害などで平塚地域の農家や家庭菜園愛好者たちは、従来の野菜を栽培することへの意欲を欠いている。</p> <p>効果や成果； 新野菜・果物への栽培取り組みを通じて、多様性を実感することができ、東南アジアの留学生たちと触れ合うことで、コロナ禍の中でも、笑いが生まれる状況をつくるのが期待できる。</p> <p>パパイヤに絞り、オンラインで英語、タイ語、日本語で発信することで多くの人にその効果を伝えることができる。パパイヤの実ができた鉢植えを、希望者に無料で配布することで、参加者からの意見、写真などをオンラインで受けて情報共有することで、水平展開が可能となる。</p>
<p><b>⑤ 協力団体等</b></p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>Tokai International Communication Club, チャレンジセンター 沖縄県大宜味村、平栄農園 玉川大学農学部熱帯植物研究室</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

	項目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
① 収入	補助金	90,000 円	平塚市市民活動推進補助金		
	寄付金	10,000 円			
		円			
		円			
		円			
	収入合計	100,000 円	円 × % =	円	補助金の申請限度額 円
② 支出	項目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
	播種、苗育成室	30,000 円	30,000 円	30,000 円	種まき、苗の栽培場所
	種・苗木	20,000 円	20,000 円	20,000 円	種、苗の購入
	温度記録装置	8,000 円	8,000 円	8,000 円	温度データをパソコンで管理
	Webサイトホスティング	10,000 円	0 円	0 円	ホームページのホスティング費用
	ドローン	15,000 円	15,000 円	15,000 円	オンラインWebを魅力的にする。
	画像編集ソフト	10,000 円	10,000 円	10,000 円	画像編集ソフト、Photoshop
	鉢など園芸用品	7,000 円	7000 円	7,000 円	矮小化の栽培、ホルモン財など
	支出合計	100,000 円	90,000 円	90,000 円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。 また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目を記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。  
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	発展コース1
受付月日	令和3年2月2日

## 令和3年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

## 1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) ヒバリノノナカマタチ			
	ひばり野のなかま達			
② 所在地	平塚市			
③ 代表者名	大畑 正子			
④ 設立年月	平成31年	4月	(法人格取得年月 年 月)	
⑤ ホームページ	http://			
⑥ 設立目的・経緯  団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。	子どもや高齢者を取り巻く環境は、時代の経過と共にその変化も著しい。両親の就労、世帯構成員の減少、ネグレクト、塾通いや引きこもり、高齢化や介護、介護離職など、様々な課題を誰もが抱えている。地域社会で一人一人の個性を尊重しながら互いに助け合い、寄り添い、理解し合える環境の必要性を強く感じる。安心・安全な場所での居場所があり、高齢者を含めた異世代（多世代）間の交流の必要性を重視し、設立した。			
⑦ 活動の概要・実績  過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援・遊び場：R. 1. 9～於中原公民館、毎月第2・4火曜、15：00～愛の鐘迄。元教員、保育士、福祉経験者等により放課後の子ども達との交流。</li> <li>・駄菓子屋：R. 1. 6～飯島のグループホーム玄関先にて開店。入居者による菓子の袋詰。ポイントカードの押印等を通して子どもと交流、毎月第3水曜</li> <li>・ちいき・子ども食堂：R. 2. 7～毎月第2・4火曜日。ラーメン屋の休店日に開店。R. 3. 1～店頭にてテイクアウト。高齢ボランティアによる手作りで美味しく、管理栄養士の献立作成によるバランスの良い夕食の提供</li> </ul>			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	平塚市市民活動推進補助金	R. 2	80,000	
	神奈川県子ども食育応援助成金	R. 2	50,000	
	新型コロナ対応緊急応援助成金	R. 2	95,000	
⑨ 年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容

⑩ 会員数	個人=.....16.....人（うち平塚市民.....15人） 団体=.....団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
	※⑪活動体制については、個人情報のため、非公開としています。		
活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。			

## 2 補助申請の内容

① 事業名	ちいき・子ども食堂
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ <u>発展コース</u>
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 29万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

## 3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施の目的： <ul style="list-style-type: none"> <li>①次世代を担う子ども達の生活環境を少しでも良くするための一助。</li> <li>②地域住民との交流</li> <li>③様々な人々への理解を深める</li> <li>④幅広い世代の活動の場所の提供</li> </ul> </li> <li>・課題・公益性：子供や高齢者、若者たちを取り巻く環境は、様々なニーズ、例えば虐待、ネグレクト、引きこもり、一人暮らし、老老介護、介護離職等を抱えている。昨今ではコロナ感染症により、生活困窮をも引き起こされている。将来を担う子ども達や幅広い世代の人々、又食事を通して交流する事で互いに理解し合い、寄り添い安らげる場所の提供。必要に応じては、関係機関との連携も考慮する。</li> </ul>
「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	

<p><b>② 事業の内容</b></p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>・中原・大原地区等の子どもや保護者を中心に、ボランティア（食材等の提供ボラ、運営ボラ、資金等提供ボラ等）によるちいき・子ども食堂の運営。</p> <p>今までは、中原小学校の児童、ひばり幼稚園の園児を中心に、中原公民館に於て、学習支援、居場所作りと飯島のグループホームでの駄菓子屋を運営してきたが、その中で見え始めたのが現代社会の課題でもある、塾通い、親の共働き、孤食、生活困窮、ネグレクト、他者との交流を否定する親等であった。また、代表の個人的な活動であったフードバンクより見えた食品の3ヶ月ルールにより捨てられてしまう食品の活用も大きな課題であったが、これを子ども食堂で活用する事は、課題の小さな活用にもつながる。また、高齢化社会においても、元気な高齢者の活動の場の提供にもつながり、介護予防にもつなげる事が出来る。</p> <p>ちいき・子ども食堂により、介護予防、生き甲斐その他子ども等が抱える様々なニーズへの対応が可能である。</p> <p>家庭的な温かい雰囲気ですることも重要な目的ではあるが、食材等を提供して下さった方の思いや、命を頂く事の当たり前をも踏まえ、コロナが収束されたら、ボランティアの構成員による食育セミナーや看護・介護に関するセミナーを開催する予定である。</p>
<p><b>③ 事業の計画</b></p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>・ちいき・子ども食堂：中原にある麺屋 DiningNANASHI の休店日に会場として借り、寄付された食材を中心に、ボランティアによる手作りの夕食の提供。基本的には定食形式による会食であるが、コロナの蔓延状況によっては店頭においてのテイクアウト形式にて実施（1/12～）</p> <p>子ども食堂の開店は、毎月第2・4火曜日。月2回。</p> <p>・ボランティアは希望者。来店者は子供と親の家庭を中心に、高齢者の一人暮らしや老夫婦世帯も対象に、中高校生の孤食の予防も対象とする。</p> <p>・参加人数は、ボランティアは10～15人程度。来店者は、通常30～40人程度。コロナ禍では、25～30人。テイクアウトは40食迄。</p> <p>・コロナ収束時には、第1回目は、管理栄養士によるボランティア中心の食育セミナー。年に2～3回は、親等、一般市民も中心に食育セミナー、看護・介護セミナー等も開催していきたい。</p>
<p><b>④ 期待される効果</b></p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>・子どもから高齢者まで、多世代間の交流が持て、互いに理解し合い、自分が自分以外の人々の為に出来る事、してもらった事の感謝など人に対する思いやりや気づきを築く事が出来る。福祉の心を育むことが出来る。</p> <p>・コロナ禍での生活のニーズも少しずつ把握でき、フードバンクへつなげる等所得の減少された方への相談（実施機関へつなげる）、食材等の支援へもつなげて行く事が出来る。</p>
<p><b>⑤ 協力団体等</b></p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>・ひまわりサロン ・平塚市内子ども食堂 ・ソロプチミスト平塚 ・個人の農家</p> <p>・わたぼうし ・(福) 伸生会 ・西ロータリークラブ ・その他寄贈者</p> <p>・創英大学ALCクラブ ・(有) 花企画</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

① 収 入	項目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
	補助金	290,000 円	平塚市市民活動推進補助金		
	寄付金	369,600 円	@30,000×12か月=360,000 会費@100×12か月×16人÷2=9,600		
	収入合計	659,600 円	発展コース：対象経費 329,220 円×90%=296,298 円	補助金の申請限度額 290,000 円	
② 支 出	項目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
	保険料	30,240 円	30,240 円	30,000 円	全社協行事業保険 @28×45人×24回=30,240
	物品購入費	100,300 円	100,300 円	100,000 円	調理器材（鍋、フライパン、コンテナ、スープカップ他）64, 460 消耗品（ビニール袋、ビニール手袋、ハコ類、他）16,060 消毒液、10,780 弁当箱 9,000
	印刷費	38,300 円	27,300 円	20,000 円	チラシ@10×2080枚=20,800 ポスター@50×30=1,500（定例会資料@10×5枚×16人×5回=4,000）他 1000 研修資料@10×5枚×20人×4回=4,000（他,7000）
	食糧費	286,080 円	0 円	0 円	食堂材料費@8,000×24=192,000 定例会茶菓子@150×16人×5回=12,000 懇親会@5000×16人=80,000 その他 2080 寄付より
	事務用品費	98,904 円	81,450 円	78,500 円	A4 用紙@400×20=8,000、A3 用紙@500=500、テプラ 7,000 テープ 4,200 光熱水費@5,000×12=60,000 ファイル@350×5=1,750、（他 17,454）
	旅費交通費	12,000 円	3,000 円	1500 円	（ガolin@3,000×4=12,000）駐車場代@300×10回=3,000
	その他	93,776 円	86,930 円	60,000 円	ハガキ@63×70枚=4,410 切手@84×30=2,520 講師謝礼 80,000（定例会用切手他 6846）
	支出合計	659,600 円	329,220 円	290,000 円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目に記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。

※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	発展コース2
受付月日	令和3年2月8日

令和3年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) あいあいリトミック あいあいリトミック			
② 所在地	平塚市			
③ 代表者名	中西こず江			
④ 設立年月	2018年 1 月 (法人格取得年月 年 月)			
⑤ ホームページ	http://			
⑥ 設立目的・経緯	<p>【目的】音楽を基盤に、心身の調和、ストレス軽減、自立支援、‘孤育て’の防止を目的とし、地域交流の場を提供している。</p> <p>【経緯】障がい児を育てる経験から、0歳からのリトミックを用いた音楽教育の有効性を感じ、当団体を設立した。インクルーシブ教育の考えを基に、子どもや障がい児に対しては心身の調和を目指すリトミックを用いて発達支援を、高齢者や障がい者に対しては心身の障害・機能の回復を目指す音楽療法を用いて、自立支援を行っている。</p> <p>‘子どもから高齢者・障がい者まで、皆で生の音楽を楽しみ、笑顔を’をモットーに、多様な音楽活動を展開している。</p> <p>団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。</p>			
⑦ 活動の概要・実績	<p>未就園児親子対象 子育てリトミックサークル（毎月4～6回）</p> <p>令和元年度 43回開催 延参加者603名</p> <p>令和2年度 34回開催 延参加者436名（令和3年1月末現在）</p> <p>※コロナウイルス感染拡大防止の為、令和2年3月から6月は活動を休止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>要支援児対象のリトミック（毎月1回）平塚市子ども発達支援室くれよん現在中止</li> <li>音楽療法や歌唱のピアノ伴奏担当（毎月4回）高齢者施設 現在中止</li> <li>リトミックコンサート 東ブロック公民館家庭教育学級 令和元年3月80人</li> <li>英語リトミック 大野公民館家庭教育学級 令和元年9月70人</li> <li>「小さな秋の音楽会」出演 城島公民館子育てサロン 令和元年11月40人</li> <li>公民館祭り出演 大野公民館 令和2年2月20人</li> </ul> <p>※コロナウイルス感染拡大防止の為令和2年度予定していた8つのコンサートは中止</p> <p>過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。</p>			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	市民活動推進補助金	H3 1. 4	100,000円	入門コース
	社協子育て支援事業	H3 1. 5	15,000円	子育て支援
	社協子育て支援事業	R2. 6	40,000円	子育て支援
⑨ 令和3年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容

⑩ 会員数	個人＝ 8 人 (うち平塚市民 5 人) 団体＝ 団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	※⑪活動体制については、個人情報のため、非公開としています。		

## 2 補助申請の内容

① 事業名	リトミックによる子どもの発達支援事業
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ <b>発展コース</b>
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 50 万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

## 3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<p>発達障がい疑いがあるといわれるグレーゾーンの子どもが、10人に1人いるといわれる昨今、生の音楽でコミュニケーション能力や音楽能力の向上に役立つといわれるリトミックを用いて、子どもの発達の手助けを目的としている。</p> <p>子育て世代の中でも、孤立しがちな未就園児親子の居場所づくりや、0歳からのリトミックを用いた発達支援を行うと同時に、子育てに悩む親達の親育ての場所になる事を目指す。</p> <p>現在、公民館や福祉会館で行われている音楽イベントで、子育て世代を対象としたコンサートは開催地域にばらつきがあり、さらにリトミックに限定すると、地域に限られてくる。それは地域性によるものが大きいですが、子育て中の親からすると、地域格差があり不公平感がある。各地域の子育てサロンの中での催し物の企画にも困っている地域もある。</p> <p>音楽の専門性を活かし活動している当団体と連携し、親子リトミックや、コンサートを行う事で、子育て世代が参加できる音楽イベントが増え、地域格差の解消や子どもの健全育成、子育て支援へと繋がっていく。</p> <p>参加者が音楽や子育てを楽しんでもらう事で‘孤育て’や虐待の防止、産後うつ予防、地域のコミュニティ作りに貢献したい。</p>
「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	

<p><b>② 事業の内容</b></p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫があれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>①リトミックによる子どもの発達支援 音楽の専門性や、音楽教育に携わってきた経験、子育て経験の当事者性を活かし、個々の子どもの個性に合わせたカリキュラムを組み、適宜褒める事で脳を活性化させ、自己肯定感を育み、心身の成長を促す療育的側面も兼ね備える。</p> <p>現在コロナウイルスによる感染拡大防止の為、一回の参加者の人数を制限する代わりに開催日数を増やし、子育てリトミックサークルを毎月6回開催している。これまで参加者共有で使っていた物を個々で使えるよう用意したり、感染拡大防止策の機材を用意する必要があり、より安心して参加してもらう為の、物品を揃える必要性が出てきた。 これからのwithコロナとしてのニューノーマルに対応するためである。 他団体や施設が休止を行っている中、私たちは、子どもの成長は今しかないと考え、開催している。コロナウイルスによって、子どもたちの成長を妨げぬよう全力を尽くしたい。</p> <p>②他団体との協賛事業 各地域の公民館や、子育てサロンと連携し、親子リトミックや英語リトミック コンサートを開催する。 また、現在HPの制作に着手しており、アップした際は‘自宅でもできるリトミック’を提供するなど、幅広く音楽で笑顔を届け、私たちの活動を周知させていきたい。合わせてパンフレットを作り、リトミックを知らない人にも目に留まるようにし、当活動を発展させていきたい。</p>																											
<p><b>③ 事業の計画</b></p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>①子育てリトミックサークル 大野公民館（毎月3回） 福社会館（毎月3回） 未就園児親子対象 参加者年間800人 要支援児対象のリトミック（毎月1回）平塚市子ども発達支援室くれよん</p> <p>②コンサート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>mumuピアノ発表会ゲスト出演</td> <td>平塚ラスカホール</td> <td>7月 150人</td> </tr> <tr> <td>親子リトミック</td> <td>花水公民館子育てサロン</td> <td>8月 30人</td> </tr> <tr> <td>リトミックwithコンサート</td> <td>四之宮公民館子育てるんるん</td> <td>10月 30人</td> </tr> <tr> <td>英語リトミック</td> <td>大野公民館家庭教育学級</td> <td>10月 80人</td> </tr> <tr> <td>「小さな秋の音楽会」出演</td> <td>城島公民館子育てサロン</td> <td>11月 30人</td> </tr> <tr> <td>「クリスマス会」ゲスト出演</td> <td>花水公民館</td> <td>12月 高齢者対象</td> </tr> <tr> <td>公民館まつり</td> <td>大野公民館</td> <td>2月 20人</td> </tr> <tr> <td>リトミックコンサート</td> <td>東ブロック公民館家庭教育学級</td> <td>3月 80人</td> </tr> </tbody> </table>			参加者	mumuピアノ発表会ゲスト出演	平塚ラスカホール	7月 150人	親子リトミック	花水公民館子育てサロン	8月 30人	リトミックwithコンサート	四之宮公民館子育てるんるん	10月 30人	英語リトミック	大野公民館家庭教育学級	10月 80人	「小さな秋の音楽会」出演	城島公民館子育てサロン	11月 30人	「クリスマス会」ゲスト出演	花水公民館	12月 高齢者対象	公民館まつり	大野公民館	2月 20人	リトミックコンサート	東ブロック公民館家庭教育学級	3月 80人
		参加者																										
mumuピアノ発表会ゲスト出演	平塚ラスカホール	7月 150人																										
親子リトミック	花水公民館子育てサロン	8月 30人																										
リトミックwithコンサート	四之宮公民館子育てるんるん	10月 30人																										
英語リトミック	大野公民館家庭教育学級	10月 80人																										
「小さな秋の音楽会」出演	城島公民館子育てサロン	11月 30人																										
「クリスマス会」ゲスト出演	花水公民館	12月 高齢者対象																										
公民館まつり	大野公民館	2月 20人																										
リトミックコンサート	東ブロック公民館家庭教育学級	3月 80人																										
<p><b>④ 期待される効果</b></p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>子育てリトミックサークルでは、毎月3回参加者親子が、それぞれの子どもの個性や成長段階に合わせて無理なく参加している。子どもが音を集中して聴けるようになり、体を動かしながら音楽を体験し声を出して楽しんだり、制作をして指先を使う事で、さまざまな脳の部位が刺激され脳が活性化する。音楽を通じて想像力や感性が磨かれ表情が豊かになり、言語の発達や心身の健康へと繋がる効果が期待できる。 同年代の子ども同士触れ合う事で、順番を守る事や、他の子どもの真似をしたりと社会性が身に付く。できる事が増える事で達成感を感じ、自己肯定感が育つ。また‘孤育て’をしている母親達にとっても、わが子の成長を感じる良い機会となっており、同世代の親達と子育ての悩みを相談しあったりできる交流の場所となっている。</p>																											
<p><b>⑤ 協力団体等</b></p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>社会福祉協議会 東ブロック公民館 平塚市子ども発達支援室くれよん 花水公民館子育てサロン 四之宮公民館子育てるんるん 城島公民館子育てサロン</p>																											

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

具体的な内容（積算根拠等）		金額		
①	補助金	500,000 円	平塚市市民活動推進補助金	
収	年会費	8,000 円	年会費@1000×8人	
	子育てサークルリトミック	200,000 円	子供@500×370 兄弟@250×60	
入	コンサートなど	40,000 円	公民館コンサート@10000×2 @3000×3 @6000×1 ゲスト出演@5000×1	
	収入合計	748,000 円	581,180 円	× 90 % = 523,062 円 補助金の申請限度額 500,000 円
②	項目	事業費	うち対象経費	うち補助金
	設備・修繕費	273,512 円	273,512 円	273,512 円
	機材費	122,263 円	122,263 円	122,263 円
	事務・消耗費	138,222 円	107,822 円	91,585 円
	コンサート発表会費	45,583 円	45,583 円	12,640 円
	製作材料費	4,860 円	0 円	0 円
	通信・教材・研修費	42,560 円	32,000 円	0 円
	交通・雑費	121,000 円	0 円	0 円
	支出合計	748,000 円	581,180 円	500,000 円

具体的な内容（積算根拠等）

ジョイントマット用移動バック（ブルーシート@3000×4 板1000×4  
 キヤスター@200×16） パネルシアター用ボード@9075×2  
 フラワー@60cm@2057×20 80cm@3960×20 ハンディ鉄琴@332×20  
 平均台@2980×6 弾力性ロープ@4119×4 ロリポップドラム@603×10  
 アクテイブブレースポット足2790円 アクテイブブレースポット手2790円  
 アクテイブブレースポット丸2790円 パネルシアター布@1617、@1980  
 けんけんぼりリング数字パネル付き2550円 ブッシュポップパネル@550×15  
 パランス橋@2880×6 パランスボード@5980×2 ピンボール@192×20  
 ドウエガッテイニーニ@1870×2 キッズなわとび1058円 木製紐達し@192×20  
 パレードトランペット1531円 パンパンラケット792円  
 クラシックマイギター1030円 バスケケットボール@800×5

コンバクト空気清浄機@21773×2 CO<sub>2</sub>濃度測定器@13800×2  
 非接触型体温計@13200 紫外線ライト@9480×2  
 アルコール消毒自動噴霧器@1980×2 首かけパーソナル空気清浄機@4999×3

パンフレット@44×1000部 マウスシールド@2157×3 ジアニスト2000円  
 アルコール消毒替え5800円 消毒ハンズジェル2000円 マスク@990×2  
 除菌ウェットシート12個5838円 PCインク@990×20 DVD-R100枚2500円  
 BD-R50枚2556円 DVDラベル紙553円 A4・A3コピー用紙@1000×2  
 A4ラミネートフィルム756円 A3ラミネートフィルム1311円 両面テープ219円  
 筆記用具@110×50 @500×5 ペーパーナプキン@100×12 電池838円  
 PCR検査唾液採取用検査キット@3800×8(対象外)

合唱用マスク@1580×8 カラカラ50個@770 和太鼓44cm@29,698  
 アヒルでグアアグアア50個@1155 キョロキョロ目玉100個@1320  
 お菓子@108×15人×3回(対象外)

楽譜@2000×3 絵本@1000×24 研修会@500×4  
 HP維持費@3300×2、@330×12(対象外)

ガソリン代@3,250×2人×12か月 人件費@500×6回×12か月 @1000×7

※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。  
 また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から  
 支出」など収入項目を記載してください。

受付番号	発展コース3
受付月日	令和3年2月9日

令和3年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) エヌピーオー キョウイクカナガワフォーラム			
	特定非営利活動法人 NPO教育かながわフォーラム			
② 団体の所在地	横浜市			
③ 代表者名	須山英治			
④ 設立年月	平成19年9月 (法人格取得年月 平成20年2月)			
⑤ ホームページ	http://www.npo-ekf.com			
⑥ 設立目的・経緯	<p>目的：学校の管理職の経験を生かして、教育に関する啓発普及を行うとともに、学校現場が直面する課題への支援を目的とする。</p> <p>経緯（おもな活動）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中高校生対象の教育相談会の実施（平塚市、秦野市）</li> <li>○理科教室の実施（城島公民館、豊田公民館）</li> <li>○健康教室の実施（城島公民館、神田公民館）</li> <li>○県内の小中学校で、理科への興味関心を高めるための出前授業の実施</li> <li>○「かながわ人づくり推進ネットワーク」参加、活動支援</li> <li>○県立学校・コミュニティスクール（学校運営協議会）委員委嘱、活動支援</li> <li>○県社会福祉協議会主催「神奈川県福祉作文コンクール」審査活動</li> </ul> <p>団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。</p>			
⑦ 活動の概要・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育相談会 日程：令和元年9月16日(月・祝)、令和2年10月25日(日) 場所：ひらつか市民活動センター 対象：平塚市及び平塚市近辺の中高校生及び保護者 後援：平塚市教育委員会 協力：神奈川県専修学校各種学校協会</li> <li>○講演と散策＜古代の歴史散策＞ 日程：令和元年10月20日、[令和2年度はコロナ禍により中止] 場所：伊勢原シティプラザ(講演)・平塚市内、伊勢原市内(散策) 後援：神奈川県教育委員会、伊勢原市教育委員会</li> <li>○中高年向け健康教室＜みんなで元気でいるための健康づくり教室＞ 日程：令和元年6月26日(水) 場所：平塚市城島公民館</li> <li>○親子理科教室 日程：令和2年11月1日(日) 場所：平塚市城島公民館</li> </ul> <p>過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。</p>			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	ひらつか市民活動ファンド	H29.4	100,000円	入門コース
⑨ 令和3年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容

⑩ 会員数	個人＝..... 38 人（うち平塚市民..... 8 人） 団体＝..... 団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
	※⑪活動体制については、個人情報のため、非公開としています。		
活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。			

## 2 補助申請の内容

① 事業名	教育相談会並びに子ども及び中高年市民を対象とする体験型講演会
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ <input checked="" type="checkbox"/> 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 36万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

## 3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<p>1. 進路に関する教育相談会 県立高校の再編統合による学科の新設・改編等に加え、各高校の教育課程や入試方法が多様化し、中学生は難しい進路選択を迫られている。こうした状況を踏まえ、本NPO会員の高校現場の経験をいかした教育相談会を開催し、中学生の進路選択の一助にしたい。</p> <p>2. 親子理科教室 OECDの学習到達度調査(PISA)や国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)等の結果から、日本の子どもたちの数学・理科の学力は世界トップレベルであるが、学習に対する意欲関心は低いことが判明している。特に、理科については、小中学校と学年が進むにつれ、関心の低下が顕著である。この理科離れを防ぐためには、小学校の理科教育が大切である。本事業では、小学生の親子を対象に、理科の楽しさを体験できる体験型理科教室を開催する。</p> <p>3. 中高年向け健康教室 日本人の平均寿命は世界トップレベルであるが、大切なことは、ずーと元気であること、すなわち、健康寿命を延ばすことである。本事業により、健康寿命を延ばすための知識と軽トレーニングの方法を伝えたい。特に平塚市城島地区は、平塚市及び湘南NPOセンターと協議体を構成し、高齢者もいきいきと参画できる「地域資源活用による交流型体験の里づくり事業」に取り組んでいる。この事業を側面から支援する意味もある。</p>
---------	---

<p><b>② 事業の内容</b></p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>1. 進路に関する教育相談会        テーマ：高校ってどんなところ？        平塚市内の中学生とその保護者を対象に、高校に関する説明を行い、希望者には個別相談に応じる。        ○参加者全員への説明        高校改革について／高校入試について／特別支援教育について／高等専修学校について        上記の説明の中で、中学生や保護者がもつ以下のような疑問に対する解説も行う。        学年制と単位制はどこが違うの／普通科・総合学科・専門学科の特徴は／クリエイティブスクールとは／インクルーシブ教育とは        ○個別相談</p> <p>2. 親子理科教室        興味関心を喚起する教材を用意して、親子で理科の楽しさを体験してもらうとともに、親子のふれあいの場としたい。親子が参加しやすいように、公民館まつりのなかで実施する。</p> <p>3. 中高年向け健康教室        テーマ：「元気が一番！健康教室」        内 容：講演と軽トレーニング体験        健康寿命を延ばすために、日常生活における健康の3要素「運動」「睡眠」「食事」の話聞き、軽トレーニングの体験をしてもらう。</p>
<p><b>③ 事業の計画</b></p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>1. 進路に関する教育相談        場所：ひらつか市民活動センター        時期：9月～10月        対象：市内中学生及び保護者 40名程度        計画：1. 平塚市教育委員会に後援依頼        2. 平塚市立中学校校長会長に趣旨説明        3. 平塚市内全中学校に、チラシの配布とポスターの掲示を依頼        4. 申し込みは原則メール</p> <p>2. 親子理科教室        場所：城島公民館、        時期：2月～3月中旬        対象：小学生の親子対象、20名程度 計画：公民館まつりのイベントとして実施</p> <p>3. 中高年向け健康教室        場所：城島公民館、        時期：10月～11月        対象：地域住民、20名程度 計画：軽トレーニングを取り入れた講義        ※神奈川県が推進している「3033運動」の一環として実施</p>
<p><b>④ 期待される効果</b></p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>1. 県立高校が多様化し、中学や保護者が進路選択に悩まされているだけでなく、中学校としても進路指導に苦慮している。中学生や保護者が、全公立展、公私協調事業「神奈川の高校展」、各高校の学校説明会等への参加に加えて、アットホームな雰囲気の本事業の教育相談会に参加することで、より適切な進路選択が出来るようになることが期待される。</p> <p>2. 子供たちが興味関心を持つ簡単な実験を企画する。        (例「飛ぶタネの話」「虹の話」「ミクロの世界をのぞいてみよう」)        本事業は、理科の楽しさを親子が共感し、親と子の触れ合いの場となることが期待される。さらに、子供がこのような体験をすることで、理科離れの解消に役立つことも期待される。</p> <p>3. これからの高齢化社会では、健康寿命を延ばし、高齢者が健康な生活を送れるようにすることが大切である。この健康教室で習得した基本的知識やトレーニングは、中高年者の健康管理に必ず役立つと思う。この健康教室を数年続け、地域活動にいきいきと参加する高齢者を増やし、地域の活性化につなげたい。</p>
<p><b>⑤ 協力団体等</b></p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>平塚市教育委員会、神奈川県専修学校各種学校協会        北里大学教職課程センター（講師派遣）        城島公民館、豊田公民館</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄

発展コース補助割合確認

項目	金額	具体的な内容（積算根拠等）
① 収入		
補助金	360,000 円	平塚市市民活動推進補助金
団体会員の会費	40,000 円	団体会員年会費の一部を事業費に充当
	円	
	円	
	円	
収入合計	400,000 円	発展コース：対象経費 400,000 円 × 90% = 360,000 円 補助金の申請限度額 360,000 円
② 支出		
項目	事業費	うち補助金
講師謝金	140,000 円	100,000 円
実験材料費	80,000 円	80,000 円
消耗品費	44,500 円	44,500 円
印刷製本費	43,500 円	43,500 円
旅費補助	92,000 円	92,000 円
	円	円
支出合計	400,000 円	360,000 円
		具体的な内容（積算根拠等）
		教育相談会(説明・相談者謝金 20,000×5名=100,000円) 内 40,000円 団体会員の会費から充当 理科教室(講師謝金 20,000×1名=20,000円) 健康教室(講師謝金 20,000×1名=20,000円) 理科教室、演習実験用消耗品および受講者実験材料 紙(3,000円×5箱=15,000円) プリンターインク(黒3,500円×5, カラー4,000円×3 計29,500円) 教育相談会広報用チラシ(24,000円)・ポスター(7,500円) 健康教室講義資料(12,000円) 講師および担当事業者打合せ 交通費実費 1,500円×6人×8回=72,000円 教育相談会広報資料市内中学校等への運搬 5,000円×3人=15,000円 理科教室実験機材搬入 5,000円×1人=5,000円
		※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目を記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。

※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	発展コース4
受付月日	令和3年2月10日

令和3年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・**発展**コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) ヤワタ キョウドシ ヘンサン イインカイ			
	八幡郷土史編纂委員会			
② 所在地	平塚市			
③ 代表者名	嶋崎 光			
④ 設立年月	平成23年5月 (法人格取得年月 年 月)			
⑤ ホームページ	http://			
⑥ 設立目的・経緯  団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。	八幡小学校課外授業の一環で、八幡の歴史を児童に教える事となりましたが、八幡の歴史に関する資料が全く無く、当時の八幡地区自治会連合会の定例会の席で資料整備の為の掲題委員会の設立を提案し、満場一致で承認されました。それから現在に至るまで、八幡地区の住宅建設はめざましいものがあり、新たに当地区に入居される方々（主に20代～40代）に八幡の歴史を理解頂き、その子供達にも伝えて新たな街作りの一助となる事を目的としております。			
⑦ 活動の概要・実績  過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。	平成24年から平成27年まで、毎年“八幡の郷土史第1刊”から各年度に1刊ずつ八幡の郷土史計4刊を発刊  令和2年8月から、略毎月定期的に八幡自治会報に郷土誌一部の掲載を始めた。特に反響はありません。但しこの掲載が集大成本の宣伝に繋がれば良いと期待しております。			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	市民活動推進補助金	30/5	10万円	郷土史発刊準備費用
	同上	31/5	16万円	郷土史発刊準備費用
⑨ 令和3年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	八幡地区自治会連合会	令和3年	4万円	郷土史発刊準備費用

⑩ 会員数	個人=..... 8人 (うち平塚市民..... 8人) 団体=..... 0団体		
⑪ 活動体制  活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	役職名	氏名	住所
	※⑪活動体制については、個人情報のため、非公開としています。		

## 2 補助申請の内容

① 事業名	八幡郷土史集大成版の普及準備
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ <b>発展コース</b>
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目 90%、2回目 80%、3回目 70%)】 34万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

## 3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的  「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	<p>今まで発刊した計4刊の見直し追加項目等を入れ1冊の本として発行した。特にこの地域にお住まいの高齢者の方々に戦争体験や昔の暮らしなどのお話をお聞きし、それ等を纏め後世に伝えていきたい。</p> <p>八幡に特化した歴史書(又は類する書籍)が無いので、八幡にお住まいの長老達がお元気の内に読んで頂きたい。又間違いがあればご指摘頂きたい。この本を読んで、八幡の歴史が判り郷土愛を持って頂きたい。</p> <p>近年この八幡には、戸建て住宅が続々建設され移り住んだ、主に20代~40代の若いご夫婦に八幡の歴史を良く理解して頂き、それを子供達に伝えてほしい。</p> <p>八幡に住むお年寄りが過去を思い出し、懐かしむ(昔あった商店や事業所等)又、古くからこの地に伝わる“格言”等も網羅して、先人の知恵も伝えていきたい。</p>
---	--

<p><b>② 事業の内容</b></p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>① 八幡に残る格言（俗諺）をカルタにして、子供達に伝えたい。以前地元の長老から頂いた地域の格言（伝承）をカルタにして、子供達に残し度い。</p> <p>② 地域住民への啓発活動</p> <p>③ 講演会の開催</p>
<p><b>③ 事業の計画</b></p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>① カルタの作成 毎週水曜日の午後から夕方まで、会員が集い新しいカルタの作成に新年度早々から取り組み度い。</p> <p>② 地域住民への啓発活動 八幡の全世帯に集大成版をお配りするのは、金銭的に不可能なので、自治会組織を通じて、少なくとも”組”単位には、増刷して新年度早々にお配りしたい。</p> <p>③ 地域講習会の開催 コロナ禍が明けたならば、八幡自治会館で講演会を開催したい、</p>
<p><b>④ 期待される効果</b></p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>同じ土地に住む人皆が共通の郷土史基盤の上に立ちより良い郷土作りに励んでいきたい。</p> <p>カルタを通じて子供達と係る事で、地域を見る目が純粋となり色々な“何故”が生まれ、当方の知識も広がり愛着がわく。</p> <p>平塚の一つの地域ではあるが地域に特化した歴史書を作る事で、平塚市の歴史編纂の一助になれば良いと考えている。（この地域でしか判らない事項を多く網羅したい）</p> <p>我々が顔を出す事で、地域住民との触れ合いがもてる。</p>
<p><b>⑤ 協力団体等</b></p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>八幡地区自治会連合会</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

項 目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
① 収入				
補助金	340,000 円	平塚市市民活動推進補助金		
八幡自治会からの補助金	40,000 円			
会費	60,000 円	団体会費		
	円			
	円			
収入合計	440,000 円	430,000 円 × 80 % =	344,000 円	補助金の申請限度額 340,000 円
② 支出				
項 目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
カルタの作成	200,000 円	200,000 円	200,000 円	イラスト作成依頼費用
集大成版の増刷	200,000 円	200,000 円	140,000 円	各自治会組長様向け集大成版の増刷・・・¥2,000 × 100部
会場使用料	25,000 円	25,000 円	0 円	1回¥500 × 50回
光熱費（冷暖房費）	5,000 円	5,000 円	0 円	¥100 × 50回
飲食費	10,000 円	0 円	0 円	会議お茶代 ¥200 × 50回
	円	円	円	
	円	円	円	
支出合計	440,000 円	430,000 円	340,000 円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。 また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目を記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。  
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	組織基盤整備コース1
受付月日	令和3年2月8日

令和3年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（組織基盤整備コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) エヌピーオウハウジン クラシ ツナガル モリ サト カワ ウミ NPO法人 暮らし・つながる森里川海
② 所在地	平塚市
③ 代表者名	臼井 勝之
④ 設立年月	2001年4月 (法人格取得年月 2017年5月)
⑤ 会員数	個人= 101人 (うち平塚市民 61人) 団体= 1団体
⑥ ホームページ	<a href="https://shonanikimonogakkou.wordpress.com">https://shonanikimonogakkou.wordpress.com</a>
⑦ 設立目的・経緯  団体の規約・定款等に記載された目的を記入してください。	2001年4月、市民団体や自治会、行政等との協働活動により、「自然の遊び場 馬入水辺の楽校」を開校した。馬入水辺の楽校の会として、長年活動してきたが、組織力を強化し、運動の輪を地域に広げようと、2017年5月にNPO法人化した。地域の自然環境の保護・保全活動を柱に、子どもたちを主たる対象にした多様な環境教育活動を展開している。
⑧ 活動の概要・実績  過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。	<p>(1) 馬入水辺の楽校を基軸に、川の自然楽校やヤギ島探検ツアー、おもちゃ広場（木育活動）など、年間60回余りの環境教育活動を展開している。</p> <p>(2) 運動の輪を流域に広げようと、山梨県の市民団体などと上下流交流会を開催している他、平塚新港お魚調べなど、海の自然との触れ合いにも取り組んでいる。</p> <p>(3) 馬入水辺の楽校を「フィールドミュージアム（自然生態園）」にしようと、草刈りや生きもの広場づくり、バタフライガーデンづくりや自然ガイド板の設置など、環境保全・整備活動に取り組んでいる。</p> <p>(4) 馬入水辺の楽校の利活用促進を図るため、国土交通省の進めるミズベリングに参画し、ワークショップを開催。「野遊び祭りin馬入水辺の楽校」として結実させ、さらなる発展を目指している。</p> <p>(5) 国土交通省の河川協力団体として、相模川のいい川づくりに参画し、「河川整備計画」の策定にかかわる。絶滅危惧種ウナギの保護を図るため、石倉カゴを設置し、護岸等への設置を働きかけている。</p> <p>■2019年度催し参加人数：2,345人（前年比145%）</p> <p>■褒賞 神奈川県ボランティア活動奨励賞（2015）、神奈川県ちきゅう環境賞（2017） 安藤スポーツ・食文化振興財団トム・ソーヤースクール企画コンテスト努力賞（2016・2018）奨励賞（2019）、安藤百福賞（2020） 神奈川新聞社地域社会事業賞（2018）、 河川財団「川づくり団体部門」優秀成果賞（2017・2018・2019） 令和元年度地域環境保全功労者賞（環境大臣賞）</p>

## 2 補助申請の内容

① 事業名	NPO法人 暮らし・つながる森里川海の運営体制の確立
② 申請額	20万円（20万円以内）※申請は1万円単位。
③ 団体の目的  団体設立の社会的背景や経緯、団体の目的・ミッションを詳しく記入してください。	ツバメやコサギなど、身の回りの生き物が姿を減らしています。テレビゲームの普及や生活様式の変化により、都市住民や子供達の自然離れが進んでいます。こうしたことから、自然環境の保護・保全及び、環境教育活動の実践が求められています。しかしながら、行政だけの取り組みでは困難で、市民や企業、専門性のあるNPO組織との協働活動が必要になっています。当法人は「子どもが元気、生きもの元気、地域が元気」を合言葉に、馬入水辺の楽校を基軸に、環境視点のまちづくり運動に取り組んでいます。
④ 現在の活動と将来の目標	馬入水辺の楽校を地域の環境教育活動の拠点に育てるべく、フィールドミュージアム（自然生態園）の設立を目指しています。原っぱや樹林帯、カエル池の整備など、生物多様性の保全活動を柱に、年間60回余の環境教育活動に取り組んでいます。
⑤ 現在の課題	1. 経営資源の確保(専任職員による経営)：収益事業の開発と農業部門の事業拡大 2. 担い手の発掘と育成（世代交代） 3. 広報力の強化（SNSの利活用促進） 4. 馬入水辺の楽校のフィールドミュージアムとしての利活用促進
⑥ 課題の原因  ⑤の課題の原因がどこにあるか記入してください。	1. 経営資源の確保 （1）専任職員を雇用できる収入源がない ①収益を確保できるプログラムの不足 ②農業部門の販売力の不足 ③企業や行政からの業務受託ができていない （2）企業との協働事業展開が未実施 2. 担い手の発掘と育成 （1）会員確保：市民を巻き込む企画力、展開力、広報力の不足 （2）担い手の発掘 ①人財発掘の企画力、広報力の不足 ②世代間のギャップを乗り越える企画力、展開力、広報力の不足 3. 広報力の不足 （1）SNSの利活用不足。紙媒体とSNSの連携不足。 （2）広域でのPR活動ができていない 4. 馬入水辺の楽校のフィールドミュージアムとしての利活用促進 （1）フィールドミュージアムとしてのビジョンが提案されていない （2）馬入水辺の楽校の必要性が喚起できていない。存在を知らない市民が多い （3）プッシュ的環境が多く、都市住民が気軽に利用できない （4）開発費の不足 （5）行政との真の協働事業が展開できていない
⑦ 基盤整備の目標  ⑤の課題の原因を踏まえ、課題を解決するための目標を記入してください。（数値的な目標も含む）	1. 経営資源の確保 （1）魅力ある催しの開催（2）消費者参加型農業の展開による販売力の強化 2. 担い手の発掘と育成 （1）市民主導のプログラムの拡充強化 （2）「自然探偵団」の組織化による体系づけられた環境教育プログラムの実施 （3）ワークショップ「ミズベリングin馬入水辺の楽校」の開催 （4）「街角みちくさ散歩」による環境市民の育成 3. 広報力強化 （1）紙媒体とSNSの連携強化（2）入会パンフの作成（3）HPのリニューアル （4）広域へのPR活動の展開 4. 馬入水辺の楽校のフィールドミュージアムとしての利活用促進事業展開

<p>⑧ 補助を必要とする理由</p>	<p>活動は年々発展し、催しの参加者も増えています。成果をあげていますが、組織基盤の強化が喫緊の課題になっています。そのための資金が必要です</p>
<p>⑨ 基盤整備の方法</p> <p>⑤の課題への具体的な対策や解決方法を記入してください。</p>	<p>1. 経営資源の確保  (1) 魅力ある催しの開催：新規プログラム：アウトドア体験教室の開催  (2) 消費者参加型農業の展開による販売力の強化</p> <p>2. 担い手の発掘と育成  (1) 市民参加プログラムの拡充強化  「生き物がかり隊」の組織化によるバタフライガーデンづくりなど  (2) 「自然探偵団」の組織化による体系づけられた環境教育プログラムの実施  (3) ワークショップ「ミズベリングin馬入水辺の楽校」の開催  (4) 「街角みちくさ散歩」による環境市民育成の取り組み</p> <p>3. 広報力の不足  (1) 紙媒体とSNSの連携強化：QRコードの利活用、インスタグラム展開  (2) 入会パンフの作成 (3) HPのリニューアル (4) 広域へのPR活動の展開</p> <p>4. 馬入水辺の楽校のフィールドミュージアムとしての利活用促進  (1) 「フィールドミュージアム構想」の策定と発表  (2) フィールドミュージアム見える化事業の展開  「生き物がかり隊」の組織化により、草刈りやバタフライガーデンづくり、生きもの広場づくりなど、環境保全・整備活動を実践し、自然生態園として具備すべき機能整備を図る。  (3) 多様な環境学習活動の展開  「自然探偵団」を組織化し、馬入水辺の楽校を基軸に魅力ある催しを展開する  (4) 馬入水辺の楽校の利活用促進を目的に、ワークショップ「ミズベリングin馬入水辺の楽校」を開催する。第一目標として「野遊び祭りin馬入水辺の楽校」の拡充強化を図る。</p>
<p>⑩ 実施体制</p> <p>組織基盤整備に関する責任者、実務担当者等を記入してください。</p>	<p>■実施体制  ①統括：白井、②企画：※白井、露木、深澤、赤木  ③ワークショップ：※露木、石黒、下野、NP0フュージョン長池  ④広報：白井、⑤環境学習：※露木、池澤、深澤、赤木、  ⑥桂川・相模川流域協議会との連携活動：峯谷  ⑦地域担当：中村 ⑧経理：白井一枝  ⑨講師陣：三森、片山、遠藤、手良村、石川、師井、岡田、神奈川県内水面試験場  (注) ※：リーダー</p> <p>■提携  桂川・相模川流域協議会、平塚市漁業協同組合、湘南生活クラブ生協  日本野鳥の会神奈川支部、平塚YWCA、東京環境工科専門学校</p>
<p>⑪ 年間スケジュール</p> <p>⑨の組織基盤整備の方法を進めるための1年間のスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>(1) 運営委員会の開催：毎月1回  (2) 総会：4月  (3) フィールドミュージアム見える化活動（4～3月）  (4) ワークショップの開催（4～3月：5回）  (5) 「街角みちくさ散歩」5～6月、9～10月 各1回  (6) 自分ごと活動：4～3月  (7) 活動紹介パンフレットの作成（5月）  (8) HPのリニューアル（5月）</p>

<p>⑫ 期待される効果</p> <p>組織基盤整備により、どのような効果や成果が期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>(1) フィールドミュージアム見える化活動</p> <p>①環境保全活動により、生物多様性の保全が図れる</p> <p>②草刈等の環境整備により、利用しやすい水辺の楽校になり、市民利用がアップする</p> <p>③多様な環境学習活動の展開により、環境学習活動の拠点として、その存在価値が高まり、長期運営の仕組みづくりの端緒が開ける。</p> <p>(2) ワークショップ</p> <p>①市民参加によるワークショップの運営により、経済的側面を視野に入れた展開方策が生まれ、水辺の楽校の長期運営の仕組みづくりの端緒が開ける</p> <p>②ワークショップの開催により、新たな人材が発掘でき、組織力の強化ができる</p> <p>(3) 自分ごとになる</p> <p>バタフライガーデンづくりや生き物広場づくり、多様な催しの展開により、豊かな人間関係が生まれ、市民による市民のための水辺の楽校づくりが促進する。</p> <p>(4) 街角みちくさ散歩</p> <p>平塚初の新たな環境保全活動が進み、環境意識の向上が図れる。</p> <p>(5) 紙ベースとSNSとをリンクさせた広報活動</p> <p>広報活動の強化により、運動の趣旨が市民に伝わり、環境視点のまちづくり運動が進展する。</p>
<p>⑬ 組織基盤整備全般に関わるスケジュール</p> <p>補助年度の前から団体の組織基盤整備を進めている、また、補助後も進めていく場合（補助金申請が複数年度続いている事業の一部である場合）は、組織基盤整備終了までのスケジュールを記入してください。（補助金は当年度に実施されるもののみに対して支給されます）</p>	<p>(1) 2021年度事業目標 2023年度に向けてのステップアップ年度</p> <p>①フィールドミュージアム第一ステップ完了 草刈りなど利用しやすい環境整備</p> <p>②魅力ある多様な環境学習プログラムの展開</p> <p>③ウナギの棲む川づくり運動の展開</p> <p>④街角みちくさ散歩の展開（環境意識の啓発活動）</p> <p>⑤他団体との連携 桂川・相模川流域協議会、ひらつか着地型観光推進協議会 平塚市漁業協同組合、平塚YWCA、生活クラブ生協</p> <p>⑥生き物がかり隊の組織化（5人以上）による環境保全活動の実施</p> <p>⑦自然探偵団の組織化（10家族以上）による体系づけられた環境教育の展開</p> <p>⑧会員による新規プログラムの企画立案と実行</p> <p>⑨ワークショップ「ミズベリングin馬入水辺の楽校」の開催 「野遊び祭りin馬入水辺の楽校」の拡充強化</p> <p>⑩経営の柱づくり 事業収益が確保できる取り組みの模索、企業CSR活動の受託推進 職員雇用の模索</p> <p>⑪広報体制の整備</p> <p>⑫会員の増加：100名→150名</p> <p>(2) 2022年度</p> <p>①2021年度の蓄積を拡充強化する</p> <p>②フィールドミュージアムの見える化活動により、馬入水辺の楽校の存在価値が高まり、長期運営の仕組みづくりが進展する</p> <p>③当法人の基本戦略及び2023年度以降の経営計画が策定される</p> <p>④職員雇用の前段として、理事に観察会等の講師料を支払うシステムを試験導入する。</p> <p>(3) 2023年度</p> <p>①「フィールドミュージアム馬入水辺の楽校」のハード面、ソフト面の基盤が整い、長期運営戦略が構築される</p> <p>②NPO経営の基本戦略が定まり、専任スタッフによる運営体制が整備されている。</p>

### 3 収支予算（組織基盤整備に限定した予算）

		具体的な内容（積算根拠等）	
項 目	金額	うち対象経費	うち補助金
① 収入			
補助金	200,000 円		平塚市市民活動推進補助金
自己資金	31,000 円		
	円		
	円		
収入合計	231,000 円		
② 支出			
項 目	事業費	うち対象経費	うち補助金
活動紹介パンフの作成	121,000 円	121,000 円	121,000 円
HPのリニューアル	50,000 円	50,000 円	50,000 円
プロジェクト	60,000 円	60,000 円	29,000 円
	円	円	円
支出合計	231,000 円	231,000 円	200,000 円

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。  
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	組織基盤整備コース2
受付月日	令和3年2月10日

令和3年度平塚市市民活動推進補助金事業企画書（組織基盤整備コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) ショウナンヒラツカ・ユルギチクカッセイカニムケタキョウギカイ 湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会
② 所在地	平塚市
③ 代表者名	秋山 貢
④ 設立年月	平成 19 年 10 月 (法人格取得年月 年 月)
⑤ 会員数	個人= 183 人 (うち平塚市民 183 人) 団体= 団体
⑥ ホームページ	なし
⑦ 目的(規約上の目的)  団体の規約・定款等に記載された目的を記入してください。	湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会 会則 第2条(目的) 本協議会は、会員の協力と英知により、「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化」の実現を目指すものとする。
⑧ 活動の概要・実績  過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。	令和元年度：【役員会[25名]】(第105回～第111回)、【会員総会】(第15回)、【ワークショップ[参加者100名程度]】(第37回/但し第38回大雨で中止、第39回コロナ禍で中止) 交流人口の増加・里山での自然保護活動等を産官学民連携して年3回程度定例開催、【自然活動部会[11名]】(第47回～第49回) 主にワークショップ活動報告とボランティア活動告知、【吉沢八景活用推進委員会[5名]】(第3回～11回)、【土地活用促進検討委員会[10名]】(市との意見交換会2回、市長への年間活動報告・面談) 令和2年度：【役員会】(112回, 116回, 117回/113回～115回と118回はコロナ禍で中止)、【会員総会】(第16回コロナ禍で中止)、【ワークショップ】(コロナ禍で開催なし)、【自然活動部会】(第50回～第52回) トンボの里整備活動、【土地活用促進検討委員会】(市との意見交換会2回、市長への年間活動報告・面談)

## 2 補助申請の内容

① 事業名	情報発信強化事業
② 申請額	20万円（20万円以内）※申請は1万円単位。
③ 団体の目的  団体設立の社会的背景や経緯、団体の目的・ミッションを詳しく記入してください。	吉沢地区における農業の担い手の減少、高齢化、荒廃山林の増加等による里山環境悪化などの地域問題解決のため、吉沢地区自治会連合会の下部組織として、平成19年10月、同役員を中心に『湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会』を設立。平成22年11月には、「平塚市まちづくり条例」に基づく「地区まちづくり協議会」として平塚市の第1号の団体認定を受け、吉沢地区の活性化に向けた様々な活動に取り組んでいる。
④ 現在の活動と将来の目標	<p>（現在の活動）・役員会（年6回程度開催）：決議報告による活動の確認。・ワークショップ（年3回程度開催）：平塚市及び近隣在住者、東京農大・東海大教職員・学生等関係人口増員のための里山整備、ハイキング、自然観察等の活動。・ボランティア団体を受入れての里山整備活動（年3回程度）。・焼き芋体験会：着地型観光推進委員会主催の応募親子による体験会の共催。・「ちいき情報局」を活用した吉沢八景の魅力発信。・地域資源活用による活性化策検討。</p> <p>（将来の目標）・既存体験事業に係る情報発信力の強化。・地域来訪者の募集力強化。・地域資源活用による関係人口の増加。関係人口増による人材基盤の強化。・協議会による収益事業の開催。・協議会を法人化しての財政基盤の強化。</p>
⑤ 現在の課題  団体の目的・ミッションの達成の妨げとなっている、組織基盤整備面での課題を記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境や農地等の素晴らしい地域資源があるにも関わらず、その魅力を地域外及び子育て世代に対する情報発信力が不足している</li> <li>・情報発信先が、ごく近隣に留まっている</li> <li>・主催活動の参加者のニーズ及び意見収集ができていない</li> <li>・協議会の団体としての法的位置付けがないために事業範囲が制限されている</li> </ul>
⑥ 課題の原因  ⑤の課題の原因がどこにあるか記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブによる情報発信が「ちいき情報局」活用の「吉沢八景通信」に留まり、受けてが限定され、興味を持った市民がコンタクトしにくい。</li> <li>・活動参加者の感想集計方法が紙ベースによる。</li> <li>・協議会が任意団体としての位置づけに留まる。</li> </ul>
⑦ 基盤整備の目標  ⑤の課題の原因を踏まえ、課題を解決するための目標を記入してください。（数字的な目標も含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験既存事業の継続拡大による財政基盤の強化。</li> <li>・参加者・入会者即ち関係人口増による人材基盤の整備。</li> <li>・ウェブの効果的活用による「地域人材の活用」、「収入・寄付金の増加」、「参加見込み者の拾い上げ」。</li> <li>・協議会の法人化に伴う、情報公開による信頼性の向上。</li> </ul>

<p>⑧ 補助を必要とする理由</p>	<p>ホームページを作成して、情報発信の強化と活動参加の感想集計を行うために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ活用のためのノートパソコン購入費用として8万円</li> <li>・ホームページ作成のための外部委託費用として12万円</li> </ul> <p>が必要。</p>
<p>⑨ 基盤整備の方法</p> <p>⑤の課題への具体的な対策や解決方法を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ作成しての情報発信強化による人材・集客力の強化</li> </ul> <p>昨今のコロナ禍で、出かける先や情報交換する場所が制限されている子育て世代に対して、魅力ある地域資源の情報発信をしたいが、現在、「ちいき情報局」が唯一のウェブによる情報発信手段としている。地域内は高齢者も多いことから、紙ベースの情報発信も必要だが、地域外、さらには世代間及び子育て世代の交流を増加させるためには、若い人や地域外の人への情報発信が必須と考える。また、ガイドブックの配布により吉沢八景の情報発信をしているが、各標柱にQRコードを付して位置図や説明をスマートフォンで確認出来るようにできれば、若い人や地域外の人に直接、旬の情報を届けることができ、効果が大きいと考えており、ぜひ実現したい。</p> <p>現在の会員でパソコンが扱える人材がいるものの、ホームページの作成のスキルがないので、外部委託を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催体験事業の参加者の感想・意見収集</li> </ul> <p>ワークショップで、閉会直前にアンケート用紙への感想回答と回収を行い、後日の参加意識の分析により次回の活動運営に生かす事としている。現在のやり方では、紙が主体なので、参加者、主催者ともに、負担が大きく、より内容を濃くし、次回につなげるためには、アンケート回答をウェブ上で行うこと、更に案内を配信できるようにしたい。特に次回の案内をウェブ配信出来れば、参加者の拡大、周知徹底に大きな効果があると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の認知度アップによる組織力の強化</li> </ul> <p>情報発信強化により、集客力を上げて収入増加を図るとともに、寄付等の外部資金調達力も強化し、併せて協議会の法人化も検討していく。</p>
<p>⑩ 実施体制</p> <p>組織基盤整備に関する責任者、実務担当者等を記入してください。</p>	<p>全体統括・管理：秋山 貢</p> <p>ホームページ担当：山田 行男、増尾 敏信</p>
<p>⑪ 年間スケジュール</p> <p>⑨の組織基盤整備の方法を進めるための1年間のスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>ホームページ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年5月～9月 ホームページの内容検討 外部委託によるホームページ作成</li> <li>・令和3年10月 ホームページ公開</li> <li>・令和3年11月～ 定期的な情報更新開始</li> </ul>

<p>⑫ 期待される効果</p> <p>組織基盤整備により、どのような効果や成果が期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>内向きの情報発信をより外向きにしたいと考えている。情報発信のツールを整備することにより、「新たな人材」を集め、また「会員増・集客力をアップ」し、「寄付等の外部資金導入」も図って、より「強力な組織」としてゆきたい。</p> <p>まだ具体化していないが、「市民農園」を開園した場合の会員募集や活動の感想収集にも情報発信ツールを活用し、更に賃貸収入や寄付等による財政基盤を強固にするために、協議会の「法人化」も検討したい。</p> <p>昨年12月の着地型観光推進委員会主催、協議会共催の「焼き芋体験」では、会費を払っての参加者に好評であった。協議会にも収入があった。今後、継続するにしても募集力が必要と考える。そうすることで、財政的にも見えてくる。</p> <p>また、耕作がなされなくなった土地活用や空き家情報の発信も必要となってくると思料する。</p> <p>今後、ワークショップは継続、「焼き芋体験」も定例化、森林活用の「アスレチック場」等や軽トラックを活用した「直売所」も企画しているが、これらの事業化推進に情報発信強化は、不可欠と考える。</p>
<p>⑬ 組織基盤整備全般に関わるスケジュール</p> <p>補助年度の前から団体の組織基盤整備を進めている、また、補助後も進めていく場合（補助金申請が複数年度続いている事業の一部である場合）は、組織基盤整備終了までのスケジュールを記入してください。（補助金は当年度に実施されるもののみに対して支給されます）</p>	<p>情報発信の強化を長期的な取組として、継続的に実施していく。</p> <p>地域資源の活用策については、地元住民の理解及び行政との協働が必要なため、これも長期的な取組として継続的に実施していく。</p> <p>（令和3年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートパソコンの購入</li> <li>・ホームページ作成</li> <li>・協議会の法人化検討開始</li> </ul> <p>（令和4年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の案内パンフレット作成</li> <li>・情報発信の多様化（フェイスブック・ツイッター・インスタグラム等）</li> </ul>

### 3 収支予算（組織基盤整備に限定した予算）

項目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
① 収入				
補助金	200,000円	平塚市市民活動推進補助金		
協議会積立金	10,000円	ホームページのドメイン取得費及びサーバー契約費		
	円			
	円			
収入合計	210,000円			
② 支出				
項目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
ノートパソコン購入費	80,000円	80,000円	80,000円	ノートパソコン 80,000万円×1台、接続機器
ホームページ作成委託費	120,000円	120,000円	120,000円	ホームページ作成外部委託費 120,000円
ホームページ開設費	10,000円	0円	0円	ホームページのドメイン取得費5,000円及びサーバー契約費5,000円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
支出合計	210,000円	200,000円	200,000円	

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。  
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

## ● 平塚市市民活動推進補助金審査会

平塚市市民活動推進補助金審査会は、市民活動や地域活動に関し、専門的知識又は学識経験を有する者から構成されています。補助金の交付の対象・補助額の審査選考を行います。

委員	藤巻 裕之	東海大学 政治経済学部 政治学科 准教授
委員	桜井 光	認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構 支援業務マネージャー
委員	藤井 京子	一般社団法人 ソーシャルコーディネートかながわ 副理事長
委員	寺山 泰郎	平塚の在宅ケアを考える会
委員	佐藤 由美子	ほんとかママ 代表
委員	横田 裕	フェニックスサービス(株) 代表取締役
委員	加藤 茂	平塚市自治会連絡協議会 幹事 豊田地区自治会連絡協議会 会長